

モルステの使い方	スクィーズ式	ピストン式
ブーム	<ol style="list-style-type: none"> 1. モルステ5kg+水3L=8kgの材料を作る 2. ポンプ車ホッパー 及び 配管の内に残っている水を抜く 3. モルステをホッパーに投入し正転させ、モルステを先行させる 4. 吸込口に少量のモルステを残す 5. アクセル・吐出を最低にセット (h/10m³ 目安速度) 6. 砂利が先行しないように吸込口にスコップなどあてる 7. 排出は確実に色が変わるまで行う 	<ol style="list-style-type: none"> 1. モルステ10kg+水6L=16kgの材料を作る 2. ポンプ車ホッパー 及び 配管の内に残っている水を抜く 3. モルステをベント管 及び 投入しT字管に投入する 4. アクセル・吐出を最低にセット 5. 生コンをホッパーに投入し正転 6. 土木配合は圧力不足になるので徐々に少しずつアクセルup 7. 排出は確実に色が変わるまで行う
配管	<ol style="list-style-type: none"> 1. 30mにつきモルステ5kg+水3L (配管1本~10本) 2. ブームの先に投入口を設けて投入 (T字管及び曲り管) 3. 先行水不要、圧送スピードはスローにて 4. 排出は確実に色が変わるまで行う 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 30mにつきモルステ5kg+水3L (配管1本~10本) 2. ブームの先に投入口を設けて投入 (T字管及び曲り管) 3. 先行水不要、圧送スピードはスローにて 4. 排出は確実に色が変わるまで行う
ブーム+配管 (例ブームの先30m)	<ol style="list-style-type: none"> 1. モルステ10kg+水6L=16kgの材料を作る 2. ポンプ車ホッパー 及び 配管の内に残っている水を抜く 3. モルステをホッパーに投入し正転させ、モルステを先行させる 4. 吸込口に少量のモルステを残す 5. アクセル・吐出を最低にセット (h/10m³ 目安速度) 6. 砂利が先行しないように吸込口にスコップなどあてる 7. 排出は確実に色が変わるまで行う 	<ol style="list-style-type: none"> 1. モルステ15kg+水9L=24kgの材料を作る 2. ポンプ車ホッパー 及び 配管の内に残っている水を抜く 3. モルステをベント管 及び 投入しT字管に投入する 4. アクセル・吐出を最低にセット 5. 生コンをホッパーに投入し正転 6. 土木配合は圧力不足になるので徐々に少しずつアクセルup 7. 排出は確実に色が変わるまで行う
<p>モルステを使用注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>基本配管はキレイである事。</u>キレイとは配管内部に付着コンクリートがない配管が大前提。付着コンクリートがあればあるほど通常圧送にも支障をきたします。 ・ <u>先行水は入れない。</u>水が先にあるとモルステに影響がでて、生コンが分離閉塞をします。セメントペーストはいいですが、水は禁物です。 ・ <u>型枠には入れない。</u>色が変わるまで確実に排出させる。入った場合、モルステは比重が軽いので、振動機で表面まで浮かせて採取する。 <p>・ 小型ポンプ車は、ブームはセメントペーストやモルタルを手練りで通す事が大抵。なのでブームは手練りで、<u>その先の配管に使用すれば、少量使用と提案ができます。</u></p> <p>・ <u>水送りで全ての廃棄物生コン車にかえせます。</u>モルステは固まらないので、(セメントと混ざれば固まる)採取した材料はホッパーに投入して混ぜます。</p> <p>・ 大型はホッパーに投入はせずに根元ベント管(曲がり管)に投入する。ホッパーに投入してしまうと混ざる量が増え、投入量が増え廃棄量が増えます。</p> <p>・ 大型ポンプのブームから配管全てモルステにて生コンを誘導させると、もちろん投入量が増え、先端での採取量が量が多くなる。<u>ブームは手練りセメントやモルタルで通し、先の配管をモルステで通す事で少量の廃棄ですむ。</u>採取したモルステは当日の配管のやり替えに再度使用する事ができる。</p> <p>モルステは、<u>廃棄場所を選びません。</u>始末の悪いセメントペーストや固まってしまうモルタルは廃棄場所や環境に影響があります。</p> <p>モルステは、<u>産廃を減らします。</u>打ち込んではいけない先行材、確実にゴミなる為に注文され運搬されるモルタル300L~1000Lが不必要になります。</p> <p>通常のブーム打設や、ちょっとした配管、高層の鉄骨スラブや地下での廃棄場所、100mまでの配管作業に適した材料です。</p> <p style="text-align: right;">有限会社 川端工業</p>		